



「一人ひとりを認め、尊重し、愛する」

カトリック谷山教会 主任司祭 トマス頭島光



皆さん、5月に入り、マリア様の月を迎えますが、これからの時節のおよそ一カ月半、私たちは復活節を過ごします。イエスの死と復活という「福音の喜び」を、いかに伝えるかは常に私たちの課題です。また一刻も早いロシア軍によるウクライナ侵攻の即時停戦を求め、復活の主に願ひましょう。年度も変わり、私は、標記の言葉を今年度の目標に掲げ、まず一步前に歩み出すことを提言したいと思います。これは、フランシスコ教皇様の回勅「兄弟のみなさん」の冒頭にある言葉から引用しました。今日から、私たちの語りかけの言葉にしましょう。

◆福音の香り

「兄弟姉妹の皆さん！」と呼びかけるとき、それは誰のことですか。また誰に向かってそう言っているのですか？人は目の前に目指す相手がいないとも、そう呼びかける場合があるかと思えます。つまり、それはまるで自分たちが一緒にいた時を思い起こさせる、呼びかけでもあるということです。この呼びかけは、まさに愛の呼びかけです。たとえ、遠く離れていても、私はあなたのことを忘れてない、というメッセージを託しているからです。だから、このパパ様の呼びかけを聞くと、なんだか幸せな思いに満たされませんか。

◆違いを認める

私たちは皆、生まれ出た場所も違えば、育った環境も違います。でも今ここで、それらを超えて、一人ひとりが互いの存在を認めあうとすれば、それは大きな喜びに変わるはずで。ウクライナの人々のことを、自分たちとは全く違った人と思えますか。どこの誰かと分からないような人と、私は付き合わないなどと言いますか。また、私とは何ら関係のない人たちだから、私は相手にしたくないなどと言って、拒否しますか。たとえ、住む世界が違って、考え方や言葉、文化が違って、あなたはその違いを認め、同じ人として彼らを尊重し受け入れることができますか。

◆尊重し敬うこと

このように、互いの違いを認め且つあなたの存在を尊重すること、それが愛につながっていくのです。この愛の経験によって、人は、ある意味、その対象に向って注意を向け始めます。つまり、ある人が別の他者に好意、関心を示すという初期の行動から、無償で何かを与えたいという愛の行動に生

まれ変わるのです。この人の愛の姿勢は、そこから発展して、その者の考え方を尊重し敬い始めます。その意味は、自分の思いや考えを、相手に絶対に強要することはないのです。実に、これが尊重することです。

◆共に築く愛

私たちはまず相手の物の見方、考え方を尊重することです。すると、自然に、そこに相手の優れた能力を見出すことにつながります。これは何かを共に作り上げていくうえでとても大切なことです。それが何か、最初は分かりませんが、予期しなかった事柄を、その方と共に作り上げることにつながるからです。私が相手を尊敬することから始めて、他者の中にも自己表明する何かしらを聴こうとすることによって生まれた発見がそこにあるのです。ですから、何らかの形で、異なる私たちが一つの新しいステージに立つことになるのです。たとえば、相手の言うことのすべてが受け入れられなくとも、誠実に語り合い、誤魔化したりせず、接点を探し出すことができれば、新しい地平へと立つことになるのです。

◆平和が生まれる

平和な社会を求めるのは人類普遍の目的です。それにしても、その実現に至るには、実に骨の折れる仕事です。私たちができる事は相手との違いを認め、これを尊重することです。小さな一歩ですが、これが平和へとつながるのではないのでしょうか。いきなり、平和が訪れることは、おそらくこれからのないでしょう。しかし、復活の主は言われました。「あなた方のうちに、平和がありますように」。神に感謝。



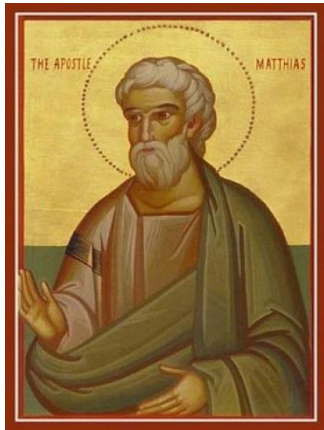


5月の教会歴より

14日 聖マチア使徒 (祝日)

1世紀

イエスの弟子であった12使徒の一人。イスカリオテのユダがイエスを裏切ったので、他の使徒たちは、その後任を2人の候補者から選ぶことにした。弟子たちは集まって熱心に祈ってから、くじを引いた。そのくじにあたったのがマチアである。マチアについては、はっきりしたことはわかっていないが、彼は最初からイエスの弟子となったユダヤ人であった。マチアは、エルサレムからエチオピアまで宣教の足をのばし、その地で殉教したといわれる。遺骨は、4世紀にローマに運ばれ、後にドイツのトリール司教座聖堂に移された。



—女子パウロ会聖人歴より—

31日 聖母の訪問 (祝日)

聖母マリアの、エリザベト訪問を記念する日。マリアが天使から受胎告知を受けたころ、彼女の親族であるエリザベトも懐妊した。長年子どもができず年老いていたので、



マリアはエリザベトの懐妊を聞き、神の偉大な力に驚き賛美し、さっそく山里にあるエリザベトの家を訪ねる。マリアの訪問を喜んだエリザベトは「あなたは女の中で祝福された方です。……わたしの主のお母様がわたしのところに来てくださるとは、どういうわけでしょう……」と感動した。マリアは、神に感謝して祈った。この祈りが有名な「マニフィカト」である。「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。身分の低い、この主のはしめのためにも目を留めてくださったからです。……」(ルカ 1.46～55)

エリザベトを励まし手伝うマリアの行為は、神と隣人に対する愛の業である

—女子パウロ会教会歴より—

天国で会えるのか?

—故ヨハン・レヒナ師 レデンブール会 フォーラム記事より—

誰に? あのユダだよ!

自分の先生イエスを裏切ったのは、12使徒の一人であるユダ・イスカリオテでした。聖書が語っているユダのことを聞いたことのない方はあまりいないようです。知らない方のために簡単に紹介します。

ユダはイエスの命を狙う人たちにある日、イエスの居場所を教えてあげました。報いとして銀貨30枚をもらったようです。この出来事は「ユダの裏切り」と呼ばれてきました。つまりそれまでに一つの釜の飯を食べた弟子が、自分の先生を捨てました。「生まれてこないほうがよかった」と、彼の後姿を見ながらイエスが言いました。ユダも自分が悪かったと分っていながら、もらったお金を神殿に投げた後、一本の木の枝に首をつりました。彼のことを言う先のイエスの言葉も厳しいが、ユダは赦しを願う余裕がありませんでした。聖書が語っている話はこちらで終わりますが、2000年にわたってユダは人類の代表的な悪者の一人として歴史に残りました。彼の行くところは地獄しかないと思われ、裁く人も少なくありません。

ここで私は思います。カトリック教会では模範的な信者を、死後に列聖する習慣があります。つまりこの人は間違いなく天国に行く恵みを受けていると宣言することです。しかし逆にどんなに悪かったと言われていても、地獄宣言ということはありません。私もいつか天国に入れてもらいたいと祈っています。そしてそのときあのユダにも出会えたらと…贅沢なお願いでしょうか…。

2012年05・01



レジオ・マリエは設立100周年を迎えました



アチエス



鹿児島
コミチウム

レジオ・マリエ(聖母マリアの軍団の意)は2021年9月に設立100周年を迎えました。今年も4月24日、カテドラル・ザビエル教会にてアチエスが開催されました。中野司教様の司式で奉献式・聖体賛美式が行われ司教様、会員、賛助会員と共に誓いの更新をいたしました。レジオは第一に会員の霊性の向上を目的としていますが、教会公認の信徒使徒職の共同体ですから、主任司祭と指導司祭の意向に従って教会のいろいろな活動に奉仕します。これからも、レジオの女王であるマリア様の取次ぎを願いながら活動してまいります。



レジオは、毎週水曜日午後 2:30 よりクレメンズホールにて集会をしています。ぜひお立ち寄りください。



ソテツの枝切り

4月9日(土)9:00～
枝の主日に使われる、ソテツの枝切りがありました。参加された皆様お疲れさまでした。お天気も良く、良い汗をかきましたね。係りの皆様お茶の準備をありがとうございました。

2022年5月<ミサ典礼>の朗読及び先唱奉仕のお願い

4月17日、復活祭を迎え、復活節に入りましたが、ロシア軍によるウクライナ侵攻によって多くの市民が空爆とミサイル攻撃により亡くなっています。引き続き、一刻も早い停戦と市民への水、食料等の支援物資が贈られるよう、共にマリア様に祈りましょう。私たちは、これからも決してウクライナへの人道支援に無関心でなく、具体的な愛の行動を起こし、支援活動に協力、連帯しましょう。さて、5月に入り、マリア様の月となり、愛を实践する時です。コロナ禍に慣れっこにならないよう気を引き締め直し、常に緊張感をもって、感染対策を引き続き徹底し、手指消毒から検温及びマスクの着用を義務付けましょう。それでも、聖堂内人数を上限80人と緩和し、歌も少しずつ歌っていきたいと思います。聖週間も無事終わり、典礼奉仕も皆さんのご理解と、協力のもとスムーズにできるようになりました。今月も愛と奉仕の心で神に賛美と感謝を捧げましょう。

- ◆受付での手指消毒及びマスク着用と検温、そして署名等のカード記入に協力願います。
- ◆三密回避として9時ミサの聖堂内への入場制限は、80人とします(*但し、典礼奉仕者を除く)
- ◆人数制限を超えても玄関ロビーから参加できます。泣部屋は子ども連れ家族を優先します。
- ◆聖堂内では決められた座席番号の前に間違いなくご着席下さい!換気と加湿は続けています。
- ◆聖体拝領は一列に並び、前後1m程度、間隔を空けて前へゆっくりとお進みください。

■5月の典礼の先唱及び朗読の役割分担は以下の通りです。

◇ 5月1日 復活節第3主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 2/3 班
◇ 5月8日 復活節第4主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 4 班
◇ 5月15日 復活節第5主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 5/11 班
◇ 5月22日 復活節第6主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 6/7 班
◇ 5月29日 主の昇天	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 8/9 班

★さて、今月の「新しい典礼についての勉強会」は、5月12日(木)、午後6時半から開催します。今回は、奉献文について、引き続きお話したいと思います。奉献文には4つがあるのですが、通常、第二がよく使われます。その理由は一番短いからかと思えます。いずれにせよ、この祈りがミサの中心部分であり、最も大切な祈りです。なせなら、そこにイエスが最後の晩餐で唱えた聖体制定の祈りがあるからです。奉献とは、エウカリスティアとの訳です。この言葉は感謝の祭儀とも訳される言葉で、実に意味深いものがそこにあります。

2022/5/1 主任司祭 トマス頭島 光

鹿児島県原爆犠牲者慰霊平和祈念碑
照国神社の裏庭に建っています。
4月3日(日) 4月17日(日)



マンドリンマザーズアンサンブルの懐かしい演奏もありました。(4月3日(日))



郡山元司教様、
山口神父様も
祈りを唱えなが
ら行進された。
4月17日

令和4年(2022年)谷山教会05月の予定と祝日表(05月01日～05月31日)

日 時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	日	6:30&9:00 復活節第3主日	ミサ後 信徒総会	②③	
2日	月	記念日 6:30	聖アタナシオ司教教会博士 朝ミサ		八十八夜
3日	火	祝日 6:30	聖フィリポ、聖ヤコブ使徒 朝ミサ		憲法記念日
4日	水	19:00	召命ミサ		みどりの日
5日	木	6:30	朝ミサ		こどもの日 立夏
6日	金	19:00	初金ミサ		
7日	土	19:00	復活節第4主日のミサ		
8日	日	6:30&9:00	復活節第4主日/世界召命祈願の日/役員会15:00	④	
9日	月	6:30	朝ミサ		
10日	火	6:30	朝ミサ		
11日	水	19:00	召命ミサ <求道者勉強会シーズンVI>17		
12日	木	6:30	朝ミサ *18:30～新しい典礼研究会		
13日	金	6:30	朝ミサ/ファチマの聖母		
14日	土	祝日 19:00	聖マチア使徒 復活節第5主日のミサ		司牧評議会設営(5,11班)
15日	日	6:30&9:00	復活節第5主日ミサ後 司牧評議会 *コミテウム14:00～	⑤⑪	教会
16日	月	6:30	朝ミサ		
17日	火	6:30	朝ミサ		
18日	水	19:00	召命ミサ		
19日	木	6:30	朝ミサ		
20日	金	6:30	朝ミサ		
21日	土	19:00	復活節第6主日のミサ		
22日	日	6:30&9:00	復活節第6主日/世界広報の日 *ミサ後 「やすらぎドーム」総会	⑥⑦	
23日	月	6:30	朝ミサ		
24日	火	6:30	朝ミサ		
25日	水	19:00	召命ミサ <求道者勉強会シーズンVI>18(終了)		
26日	木	記念日 6:30	聖フィリポ・ネリ司祭 朝ミサ		
27日	金	6:30	朝ミサ		
28日	土	19:00	主の昇天(復活節第7週)のミサ		
29日	日	祭日 6:30&9:00	主の昇天 復活節第7週	⑧⑨	
30日	月	6:30	朝ミサ		
31日	火	祝日 6:30	聖母の訪問 朝ミサ		

今月の行事当番班は6・7班です

 5月は聖母マリア様の月

5月は毎週、主日ミサの20分前からロザリオの祈りを唱えます。ウクライナの平和、コロナウイルス感染症の終息に向けてマリア様の取次を願ってお祈り致しましょう。皆さん日曜日は、早めにお越しください。



アレルヤアレルヤ
私は、世の終わりまで
いつもあなた方と
共にいる。
(マタイ28:19-20)

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00～	3, 10, 17, 24, 31日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 14:30～	4, 11, 18, 25日
聖書と教理－Ⅱ	毎週金曜日 10:00～12:00	6, 13, 20, 27日

*お知らせ・・・「新しいミサの式次第」の申し込み用紙をロビーに置いてあります。ご希望の方は、ご記入下さい。(1冊¥500)
*求道者勉強会は5月25日の講座をもって終了となります。(主任司祭・頭島光)